

羽村市子ども計画「こどもまんなか社会」をイメージさせるロゴ案について

「こどもまんなか社会」の羽村市における機運醸成、羽村市子ども計画の周知のため、ロゴマークを作成します。ロゴマークは以下の3案から市民投票にかけて決定します。コンセプト等の詳細は以下をご確認ください。

ロゴのコンセプト

計画のキャッチコピー「**ともにはぐくみ** **ともにそだつ** **こどもまんなかはむら**」に込められた願いや姿勢を表すロゴ

concept1

保護者だけでなく、全ての大人・地域が支え合い、一緒になって子供を育てること、そして、その取組によって、保護者、大人、地域も生まれ、成長していくという願い

concept2

「はぐくみ」には、「羽ぐくみ」という言葉を重ね、多摩川周辺などの自然環境に恵まれた羽村市全体で、子供たちを優しく包み込み、健やかな成長を育てていくこと、子供自身が活躍し、地域の担い手として貢献していくこと、更に、自身の将来に向けて、大きく羽ばたいていくという願い

concept3

みんなで力を合わせて、こうした未来を形作っていく強いメッセージ「こどもまんなか はむら」を、実現に向けて力強く歩んでいく姿勢

候補の3案

type A “みず”



ロゴの成り立ち

13の線は「こどもまんなか社会」(こども大綱が例示している13の社会)を表しています。それをランダムに、羽村市の象徴である「水の流れ」をイメージさせるように円形に配置しています。そのまんなかに「こどもまんなかはむら」のキャッチフレーズを配置しました。また、羽村市の「羽」を円の切れ目に配置することで、子供の誕生前から子育て当事者まで切れ目なく支援することをイメージし、羽の色には計画内のライフステージの色を採用しています。

type B “えん”



ロゴの成り立ち

こどもまんなか社会の英語訳である「Children」「Centered」の「C」、さらに子供の「こ」を想像させるように配置しています。また、「C」や「こ」を4ブロックに分けて、①オレンジ…保護者・養育者②ブルー…子供と直接、接する人③イエロー…子供が過ごす空間④グリーン…施策や文化(※はじめの100か月育ちビジョン「こどもまんなかチャート」を参考)を表し、これらの要素が揃うことで、「こどもまんなか社会」の実現に近づくことを示しています。

type C “みみ”



ロゴの成り立ち

childの「C」(こどもの手の部分)を喜んでいる子供が手と手を取り合っているように見立て、その真ん中(手と手の間)に羽村市の「H」(青の部分)を融合させることで、羽村市において、子供や大人が共に育ち、ウェルビーイングな状態で過ごせる社会をイメージしています。また、全体の形を「耳」の形に見立て、それを傾けることで、子供や若者の意見に耳を傾ける姿勢を表しています。その上下に「こどもまんなかはむら」を配置しています。

※ロゴデザインは一部変更となる可能性があります。